

プラチナ未来人財育成塾

未来のリーダーを育成することを目的として開催されている「プラチナ未来人財育成塾」。市では、毎年各中学校の代表生徒を派遣しています。広報きくち10～3月号で参加した生徒の報告書を紹介します。

参加報告

プラチナ未来人財育成塾に参加して

七城中学校2年 まつだ まひろ 松田真優さん



僕がプラチナ未来人財育成塾に参加した目的は、自身のリーダー力向上と、外から菊池を見て、何を感じ、考えるかを確認するためです。リーダー力についての悩みは、中学生になって感じていました。小学生までは、リーダー的存在の人についていけばよかったのですが、中学生になるとリーダーとして活動する場面で、人にどう接すればよいのか悩みました。そこで自身のリーダー力向上を目的としました。幸せなことにこの目的について学ぶことができました。

リーダーに必要なことは、皆のやる気やモチベーションを維持することと決断力です。そのためには、チームワークとチームへの配慮が大切です。チームが課題にぶつかった時、何を把握して、何を把握していないのか、最悪の事態は何かを考えながら解決していくことです。チームへの配慮とは、仲間への思いやりで相手に明確に自分の気持ちを伝えることと、自分から前向きにコミュニケーションを取り続けることです。そして、リーダーを支えるフォロワーがいることで初めてリーダーが成り立ちます。

人には得意分野があり、いろいろな場所においてその状況に合ったリーダーになるべきですからリーダーは状況が変わります。そして真

のリーダーとは、時にはリーダーの座を譲りフォロワーになるなど臨機応変に行動できる人なのだということを学びました。

次に、外から菊池を見るということを目的にしたのは、姉の勧めからです。姉は、熊本市内の高校に通っています。小、中学生の頃、学校の帰り道で知らない大人の人でも「おかえり。」と声をかけてくれた菊池での生活について、実は、沢山の方から愛情を受けて今まで育ってきたんだと高校生になって気付くことができ、感謝しているそうです。だから今の内に広い世界から菊池を見て、菊池の良さに早く気付くことを勧めてくれました。そこで世田谷区副区長の岡田先生の講義を聞き、菊池について考えてみました。

世田谷区は、年々人口が増加しており、現在の人口は90万人を越え、2042年には百万人になる見込みなので、人口増加の区として、まちづくりを進めているそうです。これに対し菊池市の今年4月の人口は48,776人で10年前と比べると3千3百人ほど減っています。世田谷区は、人口が多いために、防災力の向上、みどりの減少、環境問題などの課題について色々な取り組みをされています。僕は、菊池市のまちづくりの取組の中で、防災の在り方について考えました。人口減少に

伴い消防団の運営も難しくなっていると感じます。

七城中生として何が出来るだろうと考えた時、防災の手伝いなら出来ると思います。僕の住む地域には、近所の方々と交流する機会も多いため、他の家の間取りや家族構成などを知っています。だから、地震が起きて近所の家が壊れたら、あの人のこの時間は、この部屋にいるだろうと予想して動き助けることが出来るのではないかと思います。これは日頃から親しくしている住民同士がいる菊池市だからこそできることであると気付きました。

今回の講義で全ての先生方から感じたことは、皆さんエゴを越えた世界観で物事を捉え、考え、行動しているということです。特に東京都立大学特別教授の涌井先生の第三の革命「環境革命」での講義は、ものを見方を変えることについて我々は、どのように行動すべきかを学びました。また、東急株式会社の鈴置先生からは、「未来を見据えたまちづくり企業の取り組み」を学び、企業は利益のみを追求するとはかり思い込んでいたので、日本全体を見据えた企業の在り方に感銘を受けました。最後に、ご協力、ご指導いただきました関係者の皆様方に心より感謝申し上げます。

※作文は一部抜粋